

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-218000

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)8月7日

C 07 K 15/14
A 61 K 37/02
C 07 K 3/08

ABY

7731-4H
8317-4C
7731-4H※

審査請求 未請求 請求項の数 8 (全15頁)

⑮ 発明の名称 修飾ポリペプチド

⑯ 特 願 平2-250460

⑰ 出 願 平2(1990)9月21日

優先権主張 ⑱ 平2(1990)2月13日 ⑲ 日本(JP) ⑳ 特願 平2-32273

㉑ 発 明 者 三 箇 山 俊 文 群馬県前橋市総社町1-2-2 キリンビール株式会社医
薬開発研究所内

㉒ 発 明 者 門 屋 利 彦 群馬県前橋市総社町1-2-2 キリンビール株式会社医
薬開発研究所内

㉓ 発 明 者 柿 谷 誠 群馬県前橋市総社町1-2-2 キリンビール株式会社医
薬開発研究所内

㉔ 出 願 人 キリン・アムジェン・ アメリカ合衆国、カリフォルニア・91320、サウザンド・
インコーポレーテッド オークス、オーク・テラス・レイン・1900

㉕ 代 理 人 弁理士 平木 祐輔 外2名

最終頁に続く

明 細 書

1. 発明の名称

修飾ポリペプチド

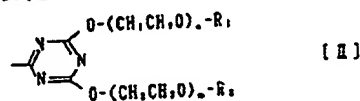
2. 特許請求の範囲

1. インターロイキン6活性を有する糖蛋白質またはポリペプチドにポリエチレングリコールを結合してなる修飾インターロイキン6。
2. ポリエチレングリコールが糖蛋白質またはポリペプチドのアミノ酸残基の遊離アミノ基を介して結合している請求項1記載の修飾インターロイキン6。
3. 糖蛋白質またはポリペプチドの少なくとも1個の遊離アミノ基の水素原子が式[1]、



(式中、n は7ないし600の正の整数を、R₁は炭素数1ないし3のアルキル基を示す。)

または式II、



- (式中、n, mは同一または異なる7ないし600の正の整数を、R₁, R₂は同一または異なる炭素数1ないし3のアルキル基を示す。)
- を有する基で置換された請求項2記載の修飾インターロイキン6。
4. ポリエチレングリコールが糖蛋白質またはポリペプチドのアミノ酸残基の遊離カルボキシル基を介して結合している請求項1記載の修飾インターロイキン6。
 5. 糖蛋白質またはポリペプチドが實質的に下記のアミノ酸配列を有するヒトインターロイキン6である請求項1記載の修飾インターロイキン6。
- ALA PRO VAL PRO PRO GLY GLU ASP SER LYS
ASP VAL ALA ALA PRO HIS ARG GLN PRO LEU